

物欲の巣窟…我が家のように

ふちんかん

「CASIO QV770」

コイツはインターネットオークションで購入したモノだ。今時35万画素で、パンフォーカスで、記録メディアが使えないという一般には使い物にならない機種なのだ。しかしコイツはとにかく速い。起動も記録も切替も一瞬。シャッターのタイムラグもない。感度が高いのでストロボを焚かなくても室内撮影ができる。回転レンズでローアングル撮影もできるし、液晶は大きくて見やすい。つまり子ども撮影には最適なデジカメなのだ。

「シールプリンタCASIO DP-300」

和光電気で叩き売りされていたシールプリンタで今撮ったばかりの写真をシールにしよう。育児日記に貼ると日々の変化がわかってGOODだぞ。

桃の節句やお食い初めなど祖父母連が集まることも多い。こんなときにQV770では力不足。真剣な写真撮影にはNIKONのデジカメだ。

「NIKON COOLPIX950」

これはすばらしい、ようやくデジカメをカメラとして認知する時代になったと感じるねえ。今までのデジカメは『すぐに見える、削除できる、現像が不要、パソコンとの親和性』などデジタルゆえの便利な面があって、そこにプラスを感じて使っていたわけだ。しかしこのCOOLPIX950はそんなデジタルとしてのプラス面は当たり前として、いままでデジカメだからといってあきらめていた『速度、描写力、自由度』等の不満がほとんど解消されている。もう一眼レフのシステムは不要なのでは？とカメラ好きの私でも思うぞ。

ついでに安くなってきた「コンパクトフラッシュ(20M)」と「携帯三脚」も購入。